2008年6月28日

定 価 1部140円(本体133円干共200円) 1年分 〒共 紙代のみ 5,000 円 3,500 円 振替 00140-9-145275 本紙を購読ご希望の方は、前金を そえて、お近くのキリスト教書店 へお申し込み下さい 教会の購読料は負担金に含みます

日本基督教団 169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18日 本 キ リ ス ト 教 会 館 内 電 話

> FAX03(3207)3918 発 行 人 内 藤留幸 編集主筆 竹 澤知代志

> > 3

沖縄

関東•東中国•

は、五月二五日から二日間、

第4回沖縄教区定期総会

沖縄キリスト教センターで

止議員四六名中、開会時四

人が出席して開催され

沖縄教区は六年連続で

各地 巡り

ろに教区の課題がある。分 と教区内の亀裂・対立に、 なくはならなかったが、こ 某が通じ合っていないとこ を読み上げることなく、「言 団問安使を拒否した。 議長報告で知花正勝議長 報告書記載の議長総括 の投票となった。 で可決され、異例の四度目

放の時をひたすら願ってい 所信表明で知花氏は「解 (与那原) 紀二 三 九

うみ疲れた心境を吐露し 二〇票で同数となった。教 が採決に付され、賛成二一 花正勝、村椿嘉信両氏が各 上位二人の決戦投票も、 場から再投票を求める提 抽選で決定」とあるが、議 区規則では「同数のときは 議長選挙では、三度目の 知 議長。書記には藤原仰氏(宜 白票六)で小倉隆一氏が副 、投票総数四〇、有効三四、

会」報告が平良修委員長か 在り方を検討する特設委員 だ「沖縄にある将来教会の 日目夜、四年間に及ん

小倉隆一氏(平真)二四、制で」と表明。投票結果は、 具志堅篤氏 (読谷) 一〇 前に、具志堅篤氏が「新体 を辿り、三度目の決戦投票 信氏が議長に選出された。 (投票総数四〇) で村椿嘉 副議長選挙も同様の経緯

一の告白とせず、

点を拾うと、①「歴史を踏 会」④「教団の信仰告白を まえた沖縄に立つ教会」② 項目あり、その中から主な 国家体制からの自立」③ 将来教会の在り方は、

野湾伝道所)が選出され、

終答申は、

経て作成された特設委の最 点について述べている。 実質化するための提言の三 望ましい将来教会の在り ジに及ぶ大部のもので、 教団との関係、 議案書の四五ペ

将来委員会」九項目の最終答申 ら行われた。委員会四八回・

全体協議会十四回の協議を

議制」⑨「六九年合同はす べきでなかった」。

答申にこの問題に苦慮した のに比べ、教団との関係が 的な連帯関係」を築くため、 教団の『距離』置き続ける」 一頁に及んで詳述している 頁と簡潔である点にも、 将来教会の在り方が、 信仰告白を目指す」⑤

教区の信仰告白を目指す

師の兼務、兼職の勧め」⑧ 決制をとらない徹底した対 ①「財政的自立のため、 当性、可能性を示唆してい 優先しない教会の形成」⑥ 「二種教職制の廃止、 聖書は未受洗者配餐の妥 。聖礼典の在り方の検討」 財政・教勢の拡大を最 多数 牧

話による合意を重んずる合 かない」と語った。 良修委員長は、「教団から離 と現状を肯定している。

団総会議員を選出せず、 員会等に派遣・推薦しない 答申の実質化のため、「教

するとも結論出来なかっ 自主自立の途を模索するし あったが、留まるとも決別 脱するなど六つの選択肢が 最小限の距離を置いて 同は喜びと愛に包まれてい た」との反論が一人から出 員とする」などを提言した。 伝道所信徒を教区総会正議 制定」「教区規則を改定して 委員長報告後、「六九年合

花正勝(与那原)

【教職】竹花和成(首里)、知

常置委員選挙結果

【信徒】高里鈴代(西原)、上

議場が委員長報告を声もな く聞き入っていた光景が印 ただけで他に意見も出ず、 地武雄(読谷)、中原芳子

原•推薦)

(永井清陽報)

(志真志)、宮里幸子(高



この特設委答申を受け

象的だった。

定」「沖縄教区の信仰告白の 来三期連続で教団総会議員 れ、沖縄教区は34回総会以 成立し、賛成二二で可決さ 総会議員選挙を行わない」 れていたが、「答申に沿っ 委ねられることになった。 選挙を実施しなかった。 て、教団と距離を置くため、 て、「答申の検討と具体化を との議員提案が動議として 選挙に関する件」も上程さ ての論議は、今後の審議に され、答申の実質化を巡っ との建議が挙手多数で可決 新常置委員会に付託する」 議案には「教団総会議員

関東

大勢の同労者・先達の手が按かれ、祈りと祝福に満ちた按手礼 准允式、三名の按手礼式が 一名の出席。 総会礼拝の中では一名の 教会・伝道所の牧師から経

場として開催された。開会

正議員二六四名中一六

を献げたい旨を語った。各 被災教会支援」のため祈り ックシティ・小ホールを会 月二八~二九日、大宮ソニ

第58回関東教区総会は五

2008年度は被災教会の 標額を超えたことの感謝、

復興と共に、「能登半島地震

標額が満たされ、「中越沖地 全国諸教会・伝道所・学校 執行された。
疋田國磨呂議 団体・海外教会の祈りと 教団の「中越 教団総会議員選挙、教団問 2007年度諸報告承認、 過と現況及び感謝報告等が なされた。主な事柄として、

の質疑応答など。特に教団 長は教憲教規だけしか示さ 安使・鈴木伸治教団書記と 書記に対し「聖餐の問題が 教団としての聖餐 罪責告白」作成検討特設委)関する件、「日本基督教団

けて議案審議に入り、20 を深めるため四つの分科会 がなされた。各議案は協議 餐論についても論議を展開 会規則は教憲教規に基いて 論をどのようにとらえる とは、教団議長の使命。聖 くために教憲教規を守るこ か」という質問があり、一教 とはやめるべき」との応答 する前にこれを逸脱するこ いる。教団を一つにしてい に付託され、その報告を受 献金」推進の件、

する件は、次のような活発 8年度教団部落解放センタ 員会継続の件、「ナルドの壷 な議論がなされた。まず提 る「教師退任勧告」に反対 件などが可決された。 負担金新割賦方式に関する 被災教会•被災地支援推進 潟県中越地震•中越沖地震5 案理由として「未受洗者配 ―活動献金」推進の件、「『新 に関する件、「関東教区教会 また五味一議員提案によ 200 され、またそうでない場合 の常議員会の時には未受洗 ていると聞き、驚いた。次 論の議論を期待して常議員

のような意見交換がなされ ていた」。これを受け、 関係の常議員も意見が割れ 見が求められた。関東教区

疋田國磨呂 (大宮)、飯塚拓 【教職】 平山正道 (四條町)、 教団総会議員選挙結果

案された。常議員全員に意 者配餐は止めるよう勧告が 洗者配餐を執行してしまっ 常議員の紅葉坂教会で未受 会に出席した。すると北村 について報告された。「聖餐 勧告に至った常議員会経過 ないが退任勧告はやめてほ ほしい。北村牧師と面識は 議長からは北村常議員退任 しい」と述べられた。教区 には退任が求められる旨提 され、拍手をもって議事を 配餐を容認することにな 長より審議未了廃案が宣言 はないか」「五味提案に賛成 ならば、退任はやむを得な た。「教団規則を破り続ける 正案も出されたが、時間を 退任勧告を否定していな る」「神奈川教区の要望も、 残す。賛成したら未受洗者 も採決には至らず、教区議 なじまない」 など。 途中修 い」「北村議員を狙い撃ちで い」「信仰の事柄は多数決に しても、反対しても亀裂を |度延長して議論を尽くす | 也(竜ヶ崎)、三浦修(埼玉和 正造(東新潟)、新井純(十日崎)、熊江秀一(新津)、小池 西文江(新潟)、綿貫富夫(桐 町 光)、最上光宏(所沢みく 刺英雄(上尾合同)、大島健 (埼大通り)、和田献一 (氏 生東部)、アンダーソン礼子 一(大宮)、丸岡早苗(甘楽)、 【信徒】滝川英子(七里)、小 (上尾合同)、塚本潤一(高 市)、五味一(安中)、秋山徹 團三(桐生東部)、村田元(原 後藤和子(館林)、内田聖子 家)、佐久間文雄(志木)、金 に)、石橋秀雄 (越谷)、小野

洋子 (五泉)、田島裕子 (安 (長岡)、内山一(鹿島)、渡辺 (松本のぞみ報)

4強化特別資金の充実

寸 る課題としては、教団の常 議員会は「教会会議とは思 らに、これらを生かす中・ が掲げられた。教団に関す

仰告白による一致』が、

長期宣教計画立案の必要性

報

を取り下げ、全教団的に聖 組みを開始する件』の議案 餐理解を深めるための取り 慈郎教師に対する退任勧告

共有した。

訴えられた。また、議案と 化やセクシュアル・ハラス しても取り上げられている この活動の理解の浸透化が 人権問題特設委員会の常設

の会議としてのあり方を批議長が説明をし、常議員会 日本基督教団総会に『北村

メント相談窓口の設置、さ

障・互助、活動援助であり、 これは、いわゆる謝儀保 特別資金の充実」が強調さ 題として、まず「教会強化

議長報告でも取り上げ

している、などの反対意見

吾二古(火)<二八 (水)、第6回東北教区

 \Box

われ、その中で、教区の課

教区議長報告が丁寧に行

目指すための課題と希望を 発題を行い、豊かな教区を 藤吉利、宮川経宣の各氏が られた「教会強化」の課題 に関連して、二宮泰助、加 議案第一〇号「第三六回 久議長の挨拶を受け、 ことで、教団問安使山北宣 の議案審議の途中、内容的 も出され議論となった。こ 教師退任勧告決議を巡る意 に重なる部分が多いという

き

開会時に正議員一五四名

マオ」で行われた。

及び、東北教区センター「エ 定期総会が仙台青葉荘教会

中一二〇名の出席だった。

午前中いっぱい行われ、修 見のやりとりが行われた。 正動議も出されたが否決さ 行われた朝の礼拝の後に、 議論は二日目、准允式が 開会礼拝では「神の似姿に

が語られ、聖餐式が執行さ ふさわしく」と題して説教 今総会中は、

聖餐のあり

を排除して自分たちの意思 これらについては見解を異 師退任勧告決議」に関して 状」だと批判し、特に「教 は、「会議制を無視している としか思えない」としたが、 に基づいて運営している現 にする議員からの質問が出 日目の夕食後の時間 憲・教規に従うことを誓約 意味を持つならば軽々に変 見などの他、聖餐が重要な えるべきでない、教師は教

2008年6月28日

五月二六日~二七日、

岡山

第57回東中国教区総会は

げ共に聖餐に与った。 って成立し、開会礼拝を献 九七名中六八名の出席によ 教会で開催された。正議員

判して、まず聖餐の学びを 突であり不信感を抱かせ 決議は多くの者にとって唐 た。議場からも、退任勧告 始めるべきことを主張し た、だまし討ちだとする意 東中国 を宣教の課題として取り組 じめとするセクシュアル・ マイノリティ』の人権問題 む件」、「『合同のとらえ直 し』を自分のこととして聴 に向けて、「『同性愛者をは この他、第3回教団総会

れ、この議案は原案通りに する件」を議案として提案 念の日を二月二五日に設置 き直し、再度合同関連議案 する件が、それぞれ可決さ を提出するために、合同記

愛)、宮﨑達雄 (倉敷)、宇 【教職】宮川経宣(岡山信 教団総会議員選挙結果

野稔(倉敷水島)、指方信 難波幸矢(光明園家族)、 子錦町)、八束潤一(米子) 平 【信徒】土井しのぶ(高梁)、 (旭東)、川崎善三 (米

子

が示された。

加藤吉利(鳥取)、谷野順 (蕃山町)、松原慎一(米子) (倉敷水島)、河田直子

会的な事件と信仰の問題はては対応中であること、社 区別されるべきであること

また、東北教区宣教共働

天受洗者配餐の学びを深める 東北

| 方を意識した発言が目立っ | べると、バランスを欠いて 勢が落ち、教会が弱体化し た時には北村慈郎教師に対 宣久議長の挨拶を読み上げ する退任勧告も含めて「教 特に教団問安使が山北 られた。 いるように思える」「教憲教 か」等の質問、 規で切り捨てる事が適切 意見が述べ

餐について』を重んじる事

ッフ一名が天に召された事

教共働連帯金規則改定に関

所の見解『未受洗者への配

一した教師に対する対応と比 個教会に介入するという事 にならないか」「セクシュア の対応が適切か」「教団が各 ルハラスメント事件を起こ ていると言われる中で、こ ること、性差別事件につい ので、それを守る義務があ 教規を守ると誓約している 試験を受けるとき及び教会 団書記から、各教師が教師 に就任するときには、教憲

それに対して鈴木伸治教 案が議場に諮られ、挙手に を決議する」の二つの建議 より前者が多数で承認され

タディーツアーにおいて交 通事故が発生し、 青年学生センター主催のス

(藤盛勇紀報)

教区を崩壊させる事にな 研究所が「未受洗者につい る」とする「宣教共働研究 件と、「未受洗者陪餐は東北 学びと対話を深めていく」 を持った合同教会として、 るのではなく、様々な背景 の見解を示した事に対して 断で行う事はできない」と て教師個人や各個教会の判 は「未受洗者配餐を承認す

また、大きな問題として サブスタ

事が述べられ、教区として 今後の有事の対応方法、責 事が起こらないよう努める を受け、ツアーのあり方や、 正式な謝罪の時を持った。 任者を明確にする事などが 確認され、 二度とこの様な また議案に「東北教区宣 かれ、活発に意見交換が行 する件」が上程される事を われた。 施」について、協議会が開 受け、「宣教共働連帯金実

礼早期執行報告と承認に関 は以下の通り。「正教師按手 他に承認された主な議題

件」「東北地区センター財政

センターの規則及び組織並

行を常置委員会に委託する

する件」「捕教師准允早期執

未受洗者配餐について活発な議論 支援に関する件」「東北教区 をする件」 びに運営等について再検討

橋和人(仙台東六番丁)、 畔)、高橋真人(会津坂下)、 田彰 (川谷) 片岡謁也(若松栄町)、柴 宮﨑新(福島伊達)、原裕 島)、望月修(仙台広瀬河 (天童)、佐々木栄悦(福 【教職】福島純雄(郡山)、高 教団総会議員選挙結果

田村眞一 雪子(仙台東)、丹治正雄 垣弘輔(仙台東六番丁)、 本町)、遠藤道雄(福島伊 六日町)、志藤仁一 石原裕子 (常磐)、志子田 達)、斎藤仁一(山都)、 (福島) 【信徒】境澤栄美子(山形 (仙台東一番丁)、 (山形

(辻順子報)

度維持充実を模索 東海

開会時正議員一九五名中一 の上山田ホテルを会場に、 五九名の出席を得て開催さ 五月二七~二八日、千曲市 第85回東海教区総会は、 あることは昨年度も報告し 会に驚く程多くの出席者が 渡された。教区主催の諸集 辞が述べられ、慰労金が手 た。一つ思いとなって伝道・ 教会形成に当たる東海教区

代表して北紀吉議長から謝 退した教師には、全信徒を に触れられた。また、祈念 れた全信徒の名前が朗読さ 式では、一年間に亡くなら ど教区諸教会・教師の消息 て、逝去した教師のことな 祈りに覚えられた。 隠 年前の総会で明らかにされ された「悔い改めのへ返済 のことが蒸し返された。二 思われる他の議事でも、こ 献金」について、内容のみ ならず呼称にまで異論・反 裏腹に、議長報告で言及

ペープサートを用いて議案の説明

教団の諸重要事項に先んじ

議長報告に於いて、教区・

の姿勢が、これらのことに

如実に表れていた。

| た、かつての教区会計担当 の処理を巡って、七千万円 者による所謂使い込み事件 っていることが露呈した。 り、教区に浅からぬ傷が残 という金額の大きさもあ 北議長は、「総会で損金処 於いては、現執行部が揃っ 信任を得ているものと思わ て上位当選しており、問題 への対応を含めて、大方の

謝罪すべきだという要求に 説明し、当人が総会の場で ることはない」とした上で、 理として扱い、事柄は終わ 会で、陪餐停止という信仰 ついては「在籍していた教 っている。これ以上議論す 「返済献金」の入金状況を 区では、それ以上に、積極 格上、疑義・反論が述べら わない配餐は、教会員であ 的な賛意・謝辞が述べられ れることが多いが、東海教 と並んで、「洗礼の有無を問 た。所謂「退任勧告」につ くの教区に於いて、その性 教団問安使挨拶では、

ても、教団総会議員選挙に のことだ」と述べた。 戒規の期間が終わってから 受けている。謝罪云々は、 傷跡は残ってはいるにし

だとの説明であった。「無い 提案ではなく、シミュレー 易いものであった。何れも、 澤匠議員によるものはマン は、詳細なデータとその分 ションによる試案であり、 ガ・イラスト入りで分かり 析に基づくものであり、鷹 西之園路子議員による発題

のか、それではやがて教会 献金・奉仕で教会を支える であり、もしそうなら誰が るかないかを問わないこと は衰微する」という強い発 摯な模索、活発な議論が続 い回しがあるが、資金が「無 けられている。 し充実させていくのか、真

言が信徒議員からなされ

原田昭三(諏訪)、辻昭(静 夫(日下部)、村田誠(甲府)、 的場武彦(下田)、小林貞

川了(遠州栄光)

(新報編集部報)

【信徒】塩入隆(長野本郷)、

(保美 (富士見高原)、長谷 一伸子 (静岡一番町)、鈴木

光)、西之園路子(蒲原)

度検討協議会が持たれた。 総会初日夜、教区互助制 その伝道・牧会のために祈 牧師、現住陪餐会員十三名、 岳南麓に伝道所が誕生し た。主任担任教師は山本護 する件」が可決され、八ヶ 教団総会議員選挙結果

出望(静岡草深)、小林眞 井)、宮本義弘(沼津)、佐々 木美知夫 (静岡)、加藤誠 【教職】北紀吉(愛宕町)、小 (遠州)、山本将信 (篠ノ (静岡一番町)、長倉勉 (三 森田恭



第二読会第二分科会

第3回国際関係委員会

北米の大学へと送り出し

その後、

奨学金の対象

経済状況や宣教協力への志 らない。本委員会において、 ら二名を選考しなければな ことを願うため、残念なが

> 積極的に送り出したいと願 委員会も実習生を公募し、 を提供してくれている。本

十七時、

教団会議室で行わ

会全員出席のもと、五月二 会の合同委員会が、両委員 協約委員会と韓国協約委員

第35総会期第三回スイス

二日(木)午後十六時から

て二〇〇九年秋、もしくは

おいて決定したことを報告 約および韓国協約委員会に いて開催する事をスイス協

他を礼拝出席と現地研修等 とし、うち三日間を会議、 十日(水)から十五日(月

したところ、開催時期とし

っている。このように、宣

れた。

を判断基準とし、韓国人一

本当に大きな役割を果たす 教協力において人的交流は

れたミッション27アジア部

上田幹事より二月に行わ

等が報告された。

月の可能性を打診された事 二〇一〇年三月もしくは四

会常任委員会に出席のおり

で検討した結果、

、準備に充

それを受けて、両委員会

度を設け、多くの日本人を 協力を得て留学生奨学金制

(3)

CとCoCの解散により、

なければ数年で支給できな

があり、補填されることが

財政的にもぜひご協力いた

た、スイス・韓国・日本三

考慮し、三国間協議会の開

つ

検討される。

分な期間が必要な点なども

催時期を二〇一〇年十一月

かねて開催を打診されてい

国間教会協議会を日本にお

を充実させるために、人的・

CoC奨学金制度を設立し

学金の支給を決定した。 名とフィリピン人一名に奨

ものである。

国際協力関係

会からの留学生へと改め、

を日本におけるアジア諸教

教

第67回東京教区定期総会

信愛荘」「にじのいえ」合併準備

〇二人中、開会時三〇三人|各議員に送付されていた。教会で開催され、正議員五|配付が実現し、あらかじぬ は、 **吾二七** 東京山手 配付が実現し、あらかじめ あった教区総会資料の事前

拝の後、組織会、

続いて来

賓挨拶を受けた。

| が出席した。今回、懸案で

グドルン・シェーア宣教

(西千葉)による開会礼

賓として挨拶する意義を述 る東京教区総会に初めて来 地方会の中で最も密に重な 方会の洪性完会長は、 在日大韓基督教会関東地

重要課題を指摘しつつ挨拶 留幸総幹事は、 高橋豊理事長、事務局より 有澤禧年局長、 団議長の挨拶文をもとに、 した。その他、 続いて、教団問安使内藤 山北宣久教 年金鳥より 出版局より

プロジェクター けての質疑では「未受洗者 愛澤豊重総務幹事がそれぞ 質問用紙の事前提出を受 いては「準則違反としてで 見解が述べられた。 答申に基づいている」との はなく、信仰職制委員会の

第一選挙と第二選挙(支区 議員選挙に関する件では、 と結果承認の後、 教団総会 常置委員半数改選の投票



引き継いだものである。か 協議会(CoC)奨学金を 本基督教団エキュメニカル 関係委員会が開催された。 世界宣教委員会が宣教協力 定を行った。本奨学金は、 協力奨学金の交付学生の選 つてCoCは北米の教会の 一回の委員会において、日 4月二〇日に第三回国際 継ぎ、本年度より「日本基 限りがあり、長く運用する があった。全員に交付した 実務にあたっている。 開始した。本委員会がその 奨学金」としてその運用を 督教団エキュメニカル協力 会がこの奨学金基金を引き いところであるが、原資に 本年度は、五名の応募者 くなってしまう。ぜひ、本 れることを願っている。 の教会と幼稚園に実習生と 会から青年を半年間ドイツ を含む世界のパ ツ宣教会は、日本基督教団 だき、多くの献金が寄せら 奨学金の趣旨をご理解いた して受け入れるプログラム 現在、ドイツの南西ドイ ハートナー教

国間協議会201

<u>0</u>年

11月開

催

第3回スイス協約・韓国協約合同委員会

が大事ではないか」「合同教 のか」「教憲教規よりも聖書 に配餐するのは教規違反な 会だから一つの考えでは縛 東京 審議の中で意見が出され を受け、 れたが少数否決となり、 案通り選挙が行われた。

れない」などと聖餐をめぐ る問題に質問が集中し、内 滕総幹事は「正典・信条・ が審議され、賛成多数で承 のいえ」の合併に関する件 認された。今後、 また「信愛荘」と「にじ 合併主体

答えた。教師退任勧告につ すと聖礼典の深い理解は得 会の権能を果たすこと」と 大切にすることは、公同教 られないとし「教憲教規を 職制」 のどれか一つでも外 区報告を口頭で行う件、

報告を三役と選管に委ねる 員の第二選挙の結果承認以 ることをふまえ、選挙結果

竹

(林牧人報)

石井信満

形で初めて公表されたこと 未収状況が教会名も含める 別選出)の定数配分の是正 を求めた議員提案が審議さ 総会資料に過年度負担金 議長報告をめぐる 原 男 村和正 (長原)、 みで総会を終了した。 石川白山)、松下恭規(芝) 【信徒】棟居正(柿ノ木坂)、 【教職】長山信夫(銀座)、野 (聖和)、

古屋博規

区長の教区常置委員会陪席 前進させることとなった。 た、教区定期総会ごとに支 要な専門委員会を立ち上げ の双方から委員を出し、必 じ関する件は、審議の後、い 北支区より提出され 支 米倉美佐男(聖和)、長崎 調布)、松下恭規(芝)、山 規 哲夫(東京山手)、 夫(洗足)、倉橋康夫(富 士見町)、張田眞(鳥居坂)、 下宣世(西千葉)、橋爪忠 園調布)、持田二郎(池袋西) 陽(経堂北)、岡田義信(田 朝岡瑞子(船橋)、 【教職】長山信夫(銀座)、木 教団総会議員選挙結果 (新島)、田村博 (田園 (小石川白山)、小橋孝

ずれも少数否決となった。 井真人(波浮)、岸俊彦(経 東海林昭雄(小松川)、 金)、深井智朗(滝野川) 川平安)、中村征一郎 北宣久(聖ケ丘)、石井錦

昨年に引き続いて一日目の ことが議運より提案され、 常置委員半数改選結果 念)、勝田英嗣 (柿ノ木坂)、 堂北)、佐野英二(安藤記 長津栄(高輪)、鍋谷憲一

米倉美佐 古屋博 子(銀座)、丸尾時彦(波浮)、 奥山盾夫(千葉本町)、澤 樋田利明(富士見町)、 信(田園調布)、持田二郎 井清陽(経堂北)、岡田義 川)、朝岡瑞子(船橋)、永 田竹二郎(白金)、笠原康 座)、松本幸恵(聖ケ丘) 木秀信 (船橋)、岩澤嵩 (銀 正(柿ノ木坂)、鈴木功男 眞嶋威(新津田沼) (目白)、鈴木優子 (小松 【信徒】池田浩二(霊南坂)、 (池袋西)、吉池光 (九段)、 上郁夫(西新井)、棟居 鈴 の後、 教会を牧会し、六六年から 湖山、智頭、鳥取西部、各 後 鳥取県に生まれる。 〇年同志社大学神学科卒業

めぐみ教会に赴任。そ 高梁、吉備、用瀬、

塩島光三(小石川白山)、 岩崎文子(牛込払方町)、 宣(代々木中部)、飯島弘 石渡伸一(聖徒)、 (長原)、柴田嘉浩(高輪)、 (長生)、 小平正 山下雅 市川恭二氏(隠退教師) 七八年まで湖山教会を牧会 五月三日、逝去。 九八年隠退した。

九九歳。



有田 |月|日、逝去。 九四歳。





羽曳が丘教会を兼牧、九〇 北海道に生まれる。 年隠退した。 し、七二年から八四年まで 九〇年まで大阪教会を牧会 本教会を牧会。四六年から 〇年同志社大学神学科卒業 洛陽教会に赴任し、 遺族は息の忠 岡 江古田

辞(主)石丸泰樹

横須賀小川町

教師異動 局

今後担当者間で協議しつ 催場所などは未定であり、 とする事を決定し、関係各 いるが、参加メンバー、 とする事までは仮決定して 方面との交渉に入る事とし 現在までテーマを「平和」 (吉岡康子報) 開 甲子園 宇部緑橋 囂 大津 富山新庄 " |葉辞(代)山崎征夫 辞(主)新渕千枝子 就(主)望月修治就(主)记守秀夫 就(主)坪内克浩 就(主)元 正章

九四 宇佐美 広島主城辞(担)荒川純太郎 大月新生 辞(主)荒又敏徳 就(主)荒川純太郎 辞(代)宇佐美睦朗 辞(担)高橋容子 辞(主)高橋 順 辞(主)水田雅敏 就(代)北 紀吉 就(代)石川宣道 紅葉坂 京 都 赤池 茅ヶ崎堤 林間つきみ野 辞(担)菊地恵美香 辞(主)下田尾治郎 就(担)安部 勉辞(担)伊藤大道 辞(主)小林 茂 就(担)三原信恵 辞(主)三原信恵

下石神井 日本聖書神学校 名古屋新生辞(主)川中 真 久居新生辞(主)角田潤 豊明新生辞(担)寺田仁計 就(主)白砂千衣子 就(代)白砂千衣子 辞(兼主)森言一郎 辞(主)広田叔弘 就(主)寺田仁計 辞(担)丸山和則 辞(主)森言一郎 就(主)末留英夫 辞(代)古屋博規 就(代)細川良枝 就(担)津村一志 就(主)笠原義久 辞(教)笠原義久 就(主)水田雅敏 就(主)荒又敏徳 六角橋 同志社 向日町 港南希望 上星川 新発田 鎌倉雪ノ下 " 就(代)君島洋三郎 就(主)下田尾治郎 辞(主)河本めぐみ 就(担)菊地恵美香 辞(担)星野江理香 就(主)鈴木義嗣 辞(主)小島一郎 就(主)望月修治 辞(主)佐伯幸雄 辞(担)嶋田律之 辞(代)佐藤千郎 辞(主)大宮 就(主)嶋田律之 就(主)今井牧夫 辞(担)山本文雄 辞(担)今井牧夫

遺族

辞(主)戸井雄三 桜美林 学生キリスト教友愛会 聖ヶ丘 成瀬が丘 辞(主)大宮 就(教)野田 辞(教)千原 辞(代)棟居 勇 辞(担)野田 辞(担)北村裕樹 就(主)梅田正二 就(主)丸山和則 辞(代)山畑 謙 就(担)石丸泰樹 辞(主)山下智子 辞(主)塩谷直也 辞(担)網中彰子 就(主)本間敏雄 就(主)島 典英 就(主)広田叔弘 溥 沢 沢創 果氏名「川村博氏」を「河 京教区欄、 訂正 **倉敷水島** 岡山 村博氏」、にお詫びして訂正 十文字平和 米 子 京都教区辞(巡) 榎本てる子 京都葵 林間つきみ野 四六五二号二面西東 辞(担)杉岡ひとみ 就(兼主)宮川経宣 辞(担)稗田みどり 常置委員選挙結 辞(主)佐原英一 辞(主)卜部康之 辞(主)宇野 辞(担)山口純弘 就(主)北村裕樹 就(主)長村亮介 稔

動に従事しております。

ております。

招聘にあたりまして主任牧師の

教会看護師―現在の相互ケアの働

制度を作ること、もう一つは

奉仕活動を西千葉教会にだけでは

むしろそれを支区内外に広

と思います。深く感

まの姿でよい。必要なもの

養会だった。

だろうか。

具体的には、

誓約時に、

左文中

いは、果たして多様性と言えるの

しかし、准允式や按手礼式の違

竹井真人報

は神が備えてくださる」「伝

よりまして、 西千葉教会に招聘さ

現在に至るまで宣教・牧会活

九九三年不思議な神の導きに

教

発致します。

木下先生は教会の働き

生活の中に働く御言」をテ

「神の言によって生きる-

た感想や愛唱の聖句を紹介

して自己紹介を行い交流を

-マに、まず開会の講演を

深めた。

教区や諸社会福祉事業の の他に週に三回位教団や

働きで出張しています。

げるということでした。

「大変なことになった。どうしよ

もう一つ感謝すべきことは、

日致しました。 章60節)と、この主イエスのみ言 葉に押し出されて二三年程前に来 広めなさい」(ルカによる福音書9 婦人保護施設で不幸な女性たちの ッドナイト・ミッション望み会にて 俊千葉県富津市の社会福祉法人ミ 「日本語」との格闘生活をし、その ン(MBK)より派遣され、二年間 「あなたは行って、神の国を言い ドイツのミッドナイト・ミッショ

め、聖書研究会、受洗準備講座や洗 でも当施設のチャプレンとして勤 ぴったり合致していました。先生 たということなのです。今振り返 は長い間の牧会経験を通じてわた 思い起こしてみると、木下先生の う?」とその時には心配しました。 具体的な期待は、わたしの使命に あの時の期待の確かさを有り難い いる可能性をよく分かっていらし し自身よりもわたしに与えられて ほどよく分かります。 木下先生の 千葉教会における奉仕一つ一つを けれども、今、十五年あまりの西

真に幸せな年月を教会員 ってみますと、わたしは と共に過ごさせて頂きま とを常に考え合い、現在は六三名 えました。高齢化が進む中で教会 いる教会員のお陰でした。 種を蒔いただけです、けれどもそ が何をなすべきであるかというこ も注目されています。 ボランティアが与えられていま か実際に動き始めたのは祈って この制度は日本の多くの教会

第 41 回

われた。その頃風説には各教会

時間が重くの

しかかるが、絶対

しかも戦後六十数年という

育て時期など、暫く礼拝を離れ

た時期はあるものの、母の信仰

に風化させてはならない。

「突然警察署から警官があら

ると共にこれからの日本の伝道の 宣教歴史の新しい章を書き始めて BKミッションの宣教幹事の責任 更にわたしの今後の働き、即ちM 教歴史の中で初めてのケースだと ました。 これはおそらく日本の官 をサポートする制度を作ってくれ えて下さった西千葉教会の会員は 千葉教会での働きを辞任すること います。わたしは感動と感謝をす 思います。 こうして日本の教会は にめに切に祈り続けていきたいと こなりました。 けれども長い間支 来る八月三一日、 残念ながら西

宣教師も家庭集会の他 思います。

左からグドルン・シェーア宣教師 西千葉教会教職、 木下宣世牧師、伊藤智副牧師

宣教師からの声

祈りに支えられて

グドルン・シェーア

の教務打ち合わせ会を行

んでいます。週に四回朝

二人体制で教会の業に励 西千葉教会では教職は

ッション《MBK》からの派遣宣教師》

当する礼拝及び諸集会や

共に聖書を読み、担

教会員の消息を確かめ合

そして共に祈って出

真に忙しい生活をし 出張しております。 様々な依頼を受けて や他教区の諸教会の 干葉支区内

礼式を執り行っています

て何も出来なかった る祈り、このような なしには宣教師とし 源となります。 これ 霊的な交わりは忙し 打ち合わせ会におけ けれども朝の教務 毎日の歩みの力の

教会でドイツにあるようなゲマイ

シデ・シュベスター (直訳すると

られました。その一つは、西千葉 不下宣世先生に二つのことを課せ

> そ様々な働きが成功することが出 す。 この祈りの証人があるからこ 千葉教会の会員が我々教職のため に忠実に祈りを捧げていることで 相互ケア制度が昨年十周年を迎

> > 伊豆諸島連合修養会

来ました。

伊豆諸島からの参加は九 レッジ」で、第四一回伊豆 た。台風四号の北上で影響 催することができた。 名) が集まって予定通り開 各支区から六〇名(その内 が懸念されたが、当日朝に 諸島連合修養会が開催され 示の「

高尾の森わくわくビ は風雨も収まり、東京教区 『誠志牧師をお迎えして、 今回は講師に四国から小 青二0日~二一旦、 東 浮の港」などハーモニカ演 ましに満ちたメッセージが 中に平和を拡げていく者と 存在が、家庭の中に社会の 働き。平和をもった一人の の後、小グループに分かれ は一気に盛り上がった。そ 奏もしてくださり、修養会 道は神との平和をもたらす て分団を行い、講演を聴い 語られた。講演の後「アメ ージンググレイス」や「波 して用いられる」など、 励

伝道」「時間ができたら、十 迫しようでは、いつまで経 分に学び準備ができたら伝 の場はまず生活の場。そこ 木を生きるキリスト者の有 それが伝道である」と、終 不に向かって生きること、 **〜宗していく。それが証し、** に支えられて生きているか 9る者が伝道する者」「伝道 、弱さをもった自分が何 様について語られ、「礼拝 小島牧師は、マタイ10章 ~23節をテキストに、「終 の教会が、互いに励まし合 会と交わる機会の少ない島 それを深く心に刻まれた修 の教会を用いてくださる。 信仰者たちが互いに励まし されている。終末を生きる おきくらいに都内でも開催 加されることもあり、五年 さる教区内の有志が大勢参 は島の課題を共有してくだ うために会場を持ち回りに 諸島連合修養会は、他の教 して行われてきたが、近年 合うために、神は小さな島 ・伝道所が五つある。伊豆 伊豆諸島には教団の教会

ざるを得なかった。

例えば、

分科会方式をとる教区

あるが、その時以上のことを感じ

午前八時に秩父警察署に出頭す の六部九部が厳しい弾圧を教職 み上げるご婦人の姿に出会っ 日」と、今は亡き母の遺稿を読 るように言い残して帰って行っ がこちらに向かっている。明朝 秩父教会へも取りしらべがある た。当時(一九四〇年)七月七 らない。最早目の前に来て一矢 ものの、はたして誰にくるかわ ものだと皆心がまえをしている も信徒も受けたことは旧知の通 第二次大戦下、日本基督教団

> った事を思い起こされる。 ひかやクリスマスの劇が楽しか

教会にお仕えされている。教会 は教会役員として、しっかりと

の様々な困難に心を痛めつつ

祈って献げる事により今の

一九四二年クリスマスに教会

りである。 しかし、 その弾圧を お聞きする機会は、なかなか無

りしらべられているときいた。 (ホーリネス)へ入り込んで取

> 代であったが、日曜学校でさん 仰を見て成長された。激動の時

教会では婦人会長を歴任し、今

地域では喫茶店を経営され、

であり、遺稿

に記される母の信

信仰を心から尊敬する。

姉が弾圧を受けた際は、青年期

遺稿を読み上げる白井キヨ子

今も忘れてはいない。 多くの人

により教会に引き戻された事を

たちを救霊に導こうとする母の

支えていると 秩父教会を始め、各地で教会を られた。その信仰の仲間達は、 となく素直に神信仰を受けとめ 信仰を見て育ったので、疑うこ 野牧師より洗礼を受けた。 母の の青年、同級生五名と一緒に浜 お聞きした。子

承が成されることと、若い人た

な喜びを覚えている。 信仰の継 新会堂が建築されたことに大き

ちが教会に呼び起こされるよう

に、という切なる祈りを誠実に

白井キヨ子さん

母の信仰を胸に



1926年10月5日生まれ。 教会役員。

hthat III hath that III hath the

て、その他の教区総会が終了した。 を廻らせて戴いた感想として、二 ~三年前のコラムに書いたことで 私も問安使として幾つかの教区 六月二|日の神奈川教区を除い 従って(正教師) 規や規範に従う」と誓って教師の い (補教師)」、 つまり、A教区では、「教憲・教 」を省くのである。

教区 0

出発をし、B教区では、そういう 使用しなければならないわけでは 誓約もなく歩み始めるのである。 ばいことは 承知 さらに、按手の時に「教師は前 勿論、現式文がこの文面通りに している。

の多様性として理解できる。

る教区もあり、これらは議事運営 もあれば、全議案を全員で審議す

> の「…信仰告白、 教会の規範とに 教憲・教規に従 区もあった。 に」と告げて、 按手を実施した教

ある。 も按手に加わる可能性があるので つまり、「教師」だけでは補教師

であるが、それ以上に、現在の教 言い難く、未受洗者陪餐問題と合 に加わることは、意味のないこと に繋がるのではないだろうか。 職制度に対する挑戦であり、 破壊 これらの現状は「多様性」とは 按手を受けていない者が、按手

わせ、「一つなる教会とは」を問い つつ教区総会を後にした…。 、教団総会副議長 小林